

# ワイデックス工場見学会のご紹介

去る8月23日(火)、ワイデックスの墨田区の本社で工場見学会が開催されました。当日は、聾学校の生徒さん18名、保護者のみなさん12名にご参加いただきました。ここでは、簡単に工場見学会の様相を紹介いたします。

## ■会社説明

ワイデックスという会社の説明からスタートです。グーグルアースを使って、ワイデックスのデンマーク本社と日本のワイデックスの場所を確認しました。そして、デンマークや日本のワイデックスでは、どんなことをしているのかをビデオを見ながら勉強しました。ワイデックスの補聴器がデンマークという遠い国からやって来ていることにみなさんびっくりしていたみたいです。



## ■工場見学



そして、いよいよ工場見学です。カミーシャという最先端の機械を使っての耳あな型補聴器のシェルの製作や、部品の組み立て、レーザーでの刻印、ラッカーでの仕上げなど、目の前で繰り広げられる細かい作業にみなさんの視線は釘づけになっていました。修理の様子や入念な検査、そして最後の出荷の様子までを見学して終了しました。毎日の生活ではなかなかできない体験ができて、みなさんとても楽しんでいただけたようです。

## ■最後に

最後は、普段みなさんが使用している補聴器についてのお手入れの方法などのアドバイスがありました。工場見学で、たくさんの人の手を経て一台の補聴器ができ上がっているということを知ったので、今まで以上に補聴器を大切にしようと思ってくれたみたいです。最後は、ぬいぐるみやキーホルダーなどたくさんのワイデックスグッズがお子さん、保護者のみなさんにプレゼントされました。



今回の工場見学会にご参加いただいたみなさん。  
たいへんおつかれさまでした。

**【ご参加いただいたみなさんの声**（お子さん、保護者のみなさんのご感想を抜粋しています）**】**

○今まで知らなかったことがわかって参加して良かったです。

細かい作業で大変だなと思いました。

これからは、補聴器をもっと大切に使いたいと思います。

○今まで補聴器の組立て方など見る機会がなく、中身がどうなっているのか全くわからなかったのも、とても良い勉強になりました。

○子供には少しむずかしいようでしたが、現場で作業している所を見るのはおもしろかったです。

○シェルにレーザー光線で名前を書くのが印象に残った。

○自分が使っている物が、どのように作られているのか、たくさんの方々が一生懸命に仕事をしている様子を子供に見せることができ、感謝しています。

○いろいろな人の手が一つの補聴器を作り上げることを改めて知り、感謝の気持ちでいっぱいです。

○最新情報を聞いて良かったです。とても楽しかったです。

○修理部分を手作業でしているとは思っていませんでした。細かい部分まで見ることができて良かったと思います。

○工場と聞いてイメージしていたのとは全く違って驚きました。一つひとつ手作業で作られているのを見てすごいなと思いました。

○使っていても実のところどうやって作られるのかはあまり知識として得ていませんでした。いい勉強になりました。工場の中ではとても緻密な作業が行われていて、みなさん大変だなあ、逆にありがたいなあと思いました。

ワイデックスは、今回の工場見学会に代表されるような、補聴器についてもっと知っていただき、補聴器をより身近に感じていただけるような活動をこれからも続けていきます。ぜひ、ご期待ください。